



第 1 回

吉野川市中小企業者等振興対策協議会

令和4年9月14日（水） 午後2時～

オンライン開催（Zoom）

第1回吉野川市中小企業者等振興対策協議会 日程

1 開 会

2 協議事項

- (1) 今後の事業計画について
- (2) プレゼン大会の在り方について
- (3) これまでのコロナ対策事業の検証と今後の取り組みについて
- (4) 吉野川市チャレンジ事業支援給付金事業者へのヒアリングについて

3 閉 会

【連絡先】吉野川市産業経済部商工観光課

担 当：商工振興係

メールアドレス：shoukoukankou@yoshinogawa.i-tokushima.jp

電 話：22-2226 FAX：22-2237

2. 協議事項

(1) 今後の事業計画について

(令和4年度協議会日程(案))

8月 第1回協議会	<ul style="list-style-type: none">・委嘱状交付・今後の事業計画について・吉野川市商工振興プレゼン大会の在り方について・これまでのコロナ対策事業の検証と今後の取り組み・吉野川市チャレンジ事業支援給付金事業者へのヒアリングについて
10月 第2回協議会	<ul style="list-style-type: none">・第2回プレゼン大会の概要について・吉野川市チャレンジ事業支援給付金事業者ヒアリング・コロナ施策の今後の取り組みについて
1月 第3回協議会	<ul style="list-style-type: none">・第2回プレゼン大会による関連協議・吉野川市チャレンジ事業支援給付金事業者ヒアリング・吉野川市中小企業者等振興対策協議会の評価

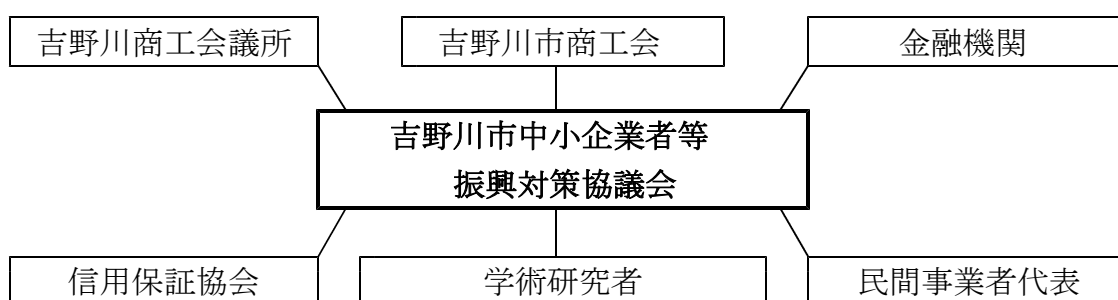
吉野川市中小企業者振興対策協議会ビジョン(5年間)

次世代人材育成と地域リーダー育成に重点を置き、市内経済の発展へと繋げる。そのために毎年、商工振興に関する施策の見直しを図り、令和5年度には、プレゼン大会の定着化とプレゼンターによる新規事業の事業拡大、また地域を牽引する人材を輩出することを目指す。

また、ワーキンググループが立ち上がった際には、当協議会との円滑な協力体制を整え機能させるため、今後も「吉野川市中小企業者、小規模企業者及び小企業者の振興に関する基本条例」に基づき当協議会の各委員の協力を仰ぐ。

(令和4年度)

- ①これまでのコロナ対策事業の検証と今後の取り組み
- ②吉野川市商工振興プレゼン大会の在り方について
- ③吉野川市チャレンジ事業支援給付金事業者へのヒアリングについて
- ④委員による吉野川市中小企業者等振興対策協議会に対する評価シートの作成



(1) これまでのコロナ対策

令和2年4月、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止とともに、感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活を支援し地方創生を図るため、国の新型コロナウイルス感染症緊急経済対策への対応として、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」が創設され、疲弊した事業者を支援するため、交付金を活用し本市独自の様々な経済対策を行い、現在も実施しています。

(令和2年度)

事業名	事業内容	給付件数	給付額
吉野川市事業者 応援給付金	市内の飲食業、宿泊業、運輸業の 事業継続支援。飲食業 10 万円、 宿泊・運輸は上限 50 万	飲食業 186 件 宿泊業 15 件 運輸業 22 件	22,800,000 円
吉野川市融資利 用者応援給付金	セーフティネット等から融資を受 けた市内業者への融資額の一部を 支援（上限 20 万）	457 件	84790,000 円

(2) 今後のコロナ対策について

国においては、令和4年3月に、地方公共団体が、コロナ禍において原油価格や電気・ガス料金を含む物価の高騰の影響を受けた生活者事業者の負担の軽減を、地域の実情に応じ、きめ細かに実施できるよう、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を拡充するなど、長期化するコロナ禍の影響により、厳しい状況は現在も継続しており、今後、更なる事業者支援が必要であります。本協議会において、コロナ禍における中小企業者等の施策を推進するため、中小企業者等の現状や課題を把握し、本市への効果的な施策の提言について協議していただきたいと考えています。

(参考) 現在における国、県の施策 別紙資料参照

	給付金	融資	助成金
国	<ul style="list-style-type: none">・持続化給付金・事業復活支援金・		
県			

終息が見えない新型コロナウイルス感染症の影響国からの臨時交付金の活用もコロナ禍

における事業者支援は継続交付金は

長期化するコロナ禍の影響により、厳しい状況は現在も継続しております

新たな施策を展開し

令和2年4月以降、国、県、市において「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用し、疲弊した事業者を支援してきましたが、

おける「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」を決定し、これ
が先月末に成立しました。今回の緊急対策には、原油価格や物価
活や経済活動への影響に緊急かつ機動的に対応し、コロナ禍から
復を確かなものとするため、原油価格高騰対策、エネルギー・原
給対策、中小企業、生活困窮者等への支援などが盛り込まれてお
ります。

令和2年4月、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止とともに、感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活を支援し地方創生を図るため、国の新型コロナウイルス感染症緊急経済対策への対応として、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」が創設され、疲弊した事業者を支援するため、交付金を活用し本市独自の様々な経済対策を行い、現在も実施しています。

本県経済につきましては、景気は新型コロナの影響がみられますが、生産は持ち直し、個人消費は一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直しています。また、雇用情勢も、有効求人倍率が前月から上昇し、4月は1.55倍となるなど、緩やかな改善の動きが続いています。一方で、中国における感染再拡大の影響や、ウクライナ情勢の長期化などが懸念されるなかで、部品等の供給面での制約や原材料価格の上昇、金融資本市場の変動等による下振れリスクに十分注意する必要があるほか、感染症による影響を注視する必要があります。

こうしたなか、国においては、去る4月に、コロナ禍における「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」を決定し、これに関連する補正予算が先月末に成立しました。今回の緊急対策には、原油価格や物価の高騰による国民生活や経済活動への影響に緊急かつ機動的に対応し、コロナ禍からの経済社会活動の回復を確かなものとするため、原油価格高騰対策、エネルギー・原材料・食料等安定供給対策、中小企業、生活困窮者等への支援などが盛り込まれております。

地方公共団体が地域の実情に応じて、きめ細やかに必要な事業を実施できるよう、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を創設しています。地方創生臨時交付金は、コロナ対応のための取組である限り、原則、地方公共団体が自由にお使いいただくことができます。

緊急経済対策の専決処分をはじめ、本市独自の対策を盛り込んだ補正予算案件につつまし

てご審議を賜り、全ての議案を滞りなく議了賜りましたことを心から厚くお礼を申し上げます。

内閣府では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止とともに、感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活を支援し地方創生を図るため、「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策（令和2年4月7日閣議決定（4月20日変更）」、「国民の命と暮らしを守る安心と希望のための総合経済対策（令和2年12月8日閣議決定）」及び「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策（令和3年11月19日閣議決定）」への対応として、地方公共団体が地域の実情に応じて、きめ細やかに必要な事業を実施できるよう、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を創設しています。地方創生臨時交付金は、コロナ対応のための取組である限り、原則、地方公共団体が自由にお使いいただくことができます。

また、感染拡大に対する都道府県による営業時間短縮要請やそれに伴う協力金の支払い等の機動的な対応を支援するため、令和2年11月に、「協力要請推進枠」を創設しています。

さらに、緊急事態宣言の発出により、人流が減少し、経済活動への影響が全国的に生じることを踏まえ、その影響をうける事業者に対し、都道府県が地域の実情に応じた支援の取組を確実に実施できるよう、特別枠として「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（事業者支援分）」を令和3年4月に創設しました。

令和3年11月12日に政府対策本部にて決定された、「次の感染拡大に向けた安心確保のための取組の全体像」において、日常生活や経済社会活動における感染リスクを引き下げ、ワクチン接種や検査による確認を促進することが有効であるとして、都道府県による検査無料化の取組に対し支援を行う、「検査促進枠」を令和3年12月に創設しました。

令和4年4月26日に原油価格・物価高騰等に関する関係閣僚会議で取りまとめられた「コロナ禍における「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」」において、コロナ禍において原油価格や電気・ガス料金を含む物価の高騰の影響を受けた生活者や事業者の負担の軽減を促すとされたことを踏まえ、「コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分」を令和4年4月に創設しました。

(2) 吉野川市商工振興プレゼン大会の在り方について

令和元年度において、事業者や市民の皆さまから本市の商工振興に関する意見や提案をする場として「吉野川市商工振興プレゼン大会」を開催し、下記の4事業者からの提案がございました。令和2年度以降の状況は下記のとおりですが、引き続き情報収集等を行い、協力依頼があれば協議会で検討し、可能な限り協力する。

第1回吉野川市商工振興プレゼン大会

プレゼンター	テーマ	現在
おえっこスポーツクラブ	アリーナを拠点としたスポーツ活動での地域活性化	事務局として定期的に会合に参加し情報収集に努めている
森定 真人	5963でブランド化しよう	具体的に進展なし
かもじま五九郎まちづくり株式会社	まちの活性化	主にイベント事業などを展開している
原田 真	やっちゃんローカル!	令和3年度に(社)Kitamuを設立し活動している

吉野川市中小企業者振興対策協議会ビジョン(5年間)で「プレゼン大会の定着化とプレゼンターによる新規事業の事業拡大、また地域を牽引する人材を輩出することを目指す」と掲げています。プレゼン大会については今年度については、プレゼン大会の在り方、次年度の開催に向けて協議する。

(案)

①プレゼンター候補者(直接依頼予定)

【学生枠】

- ・徳島大学 ・徳島文理大学 ・四国大学
- ・川島高校 ・吉野川高校

【社会人枠】

- ・一般社団法人吉野川青年会議所 ・吉野川商工会議所
- ・吉野川市商工会 ・(社)Kitamu

②プレゼン大会での評価について

プレゼンターはプレゼン大会で発表し、協議会はプレゼン内容について評価する。評価して、実現が可能な場合はワーキンググループを立ち上げ、協議会と連携する。



事業実現に向けて、必要であれば中小企業者等振興基金の運用益を活用し事業補助金、給付金を検討する。

中小企業者等振興基金

・基金積立額		100,000千円
・運用利率		1.2%/年
・運用見込益		1,200千円
・基金積立額	R1	583千円
	R2	750千円
	R3	

(3) これまでのコロナ対策事業の検証と今後の取り組み

①これまでのコロナ対策

令和2年4月、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止とともに、感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活を支援し地方創生を図るため、国の新型コロナウイルス感染症緊急経済対策への対応として、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」が創設され、疲弊した事業者を支援するため交付金を活用し本市独自の様々な経済対策を行い、現在も実施しています。

(令和2年度)

事業名	事業内容	給付件数	給付額
吉野川市事業者応援給付金	市内の飲食業、宿泊業、運輸業の事業継続支援。飲食業 10 万円、宿泊・運輸は上限 50 万	飲食業 186 件 宿泊業 15 件 運輸業 22 件	22,800,000 円
吉野川市融資利用者応援給付金	セーフティネット等から融資を受けた市内業者への融資額の一部を支援（上限 20 万）	457 件	84,790,000 円
吉野川市チャレンジ支援事業給付金	新型コロナウイルス感染症を乗り越えるための民間事業者等のモデル的な取組を支援。	18 件	11,369,450 円
吉野川市「おえクーポン」事業	吉野川市民の全員を対象に、市内の登録店舗で使える 1 人あたり 3,000 円、18 歳以下は 6,000 円のクーポン券を配布する。	248 店舗	133,253,500 円 (店舗への換金額)

(令和3年度)

事業名	事業内容	給付件数	給付額
吉野川市スーパープレミアム付き商品券事業	1 冊 5,000 円で販売し 10,000 円分使える商品券を 30,000 冊発行。利用は市内店舗のみ対象。	271 店舗	297,931,000 円 (店舗への換金額)
吉野川市事業者継続応援給付金事業	市内の個人・法人事業者並びに農林業業者に事業継続を支援（上限 10 万円）	531 件	51,200,000 円

(令和4年度)

事業名	事業内容	給付件数	給付額
吉野川市スーパープレミアム付き商品券事業	1 冊 5,000 円で販売し 10,000 円分使える商品券を 35,000 冊発行。利用は市内店舗のみ対象。	301 店舗 (8/25 現在)	350,000,000 円 (店舗への換金予定額)
吉野川市地場産品消費拡大事業	市内事業者が製造する食材、加工品等を購入し、市内小・中学校、こども園等に通う子供達の給食に提供する。		5,000,000 円

②今後のコロナ対策について

国においては、令和4年3月に、地方公共団体が、コロナ禍において原油価格や電気・ガス料金を含む物価の高騰の影響を受けた生活者事業者の負担の軽減を、地域の実情に応じ、きめ細かに実施できるよう、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を拡充するなど、長期化するコロナ禍の影響により、厳しい状況は現在も継続しており、今後、更なる事業者支援が必要であります。これまで事業者支援が主な施策であったが、規制緩和や新たな融資制度の創設など、本協議会において、コロナ禍における中小企業者等の施策を推進するため、中小企業者等の現状や課題を把握し、本市への効果的な施策の提言について協議していただきたいと考えています。

(企業支援の主な取り組み)

○吉野川市企業立地促進条例

吉野川市内に指定要件を満たす企業を立地された場合、固定資産税に対する奨励金及び雇用奨励金を交付します。

(企業立地促進奨励金：(新設、増設又は移設により異なる)、雇用奨励金：新規地元常用従業員1人につき50万円)

○吉野川市短期事業及び創業支援資金保証制度

吉野川市内の個人や中小企業で短期での事業資金調達や新たに事業を開始する場合に利用する融資制度に係る信用保証料を市が負担します。

(参考) 現在における国、県の施策 別紙資料参照

(4) 吉野川市チャレンジ事業支援給付金事業者へのヒアリングについて

令和2年度において、新型コロナウイルス感染拡大の影響を乗り越えるため、地域内のイノベーション創出に向けて、市内事業者の新たなチャレンジを支援し、モデル的な取り組みに対する給付金に対し、協議会として吉野川市チャレンジ支援事業給付金の審査や進捗状況を行いました。事業効果について検証し、事業者を協議会に招聘しヒアリングを開催いたします。対象は18事業者になるため、1回につき3事業者程度を予定しています。

採択事業一覧

	事業名	事業者	事業額
1	ツアー客の誘致事業開拓	東野リキュール製造業	345,000
2	「山辛唐辛子」栽培拡大及び商品化事業	河野 功 (山辛ペッパーズ) 和泉正治 (山辛ペッパーズ)	1,000,000
3	超硬製品の加工	阿波スピンドル株式会社	496,960
4	“コロナに打ち勝つ” 会員獲得オンライン事業	おえっこスポーツクラブ	500,000
5	動画撮影可能なレンタルスペース：KAMOスタ	日本中央テレビ株式会社	500,000
6	高級菓子・惣菜中心であった貼箱商品から異業種への販路拡大計画	株式会社 山文	500,000
7	日本初！WEBで選んだ衣装を貸衣装店で試着するシステムの構築	有限会社 あげぼの	500,000
8	コロナ渦におけるスマートフォン購入の新しいスタイルへの移行と提案	スマホ堂 鴨島店	428,000
9	顧客ごとに異なる接着強度に柔軟に対応する貼加工へのチャレンジ	田島テクニカ株式会社	500,000
10	水溶性残塗料の固化剤開発	株式会社 アクト	488,843
11	ライフワーク多様化プロジェクト	NPO法人 美郷宝さがし探検隊	310,227
12	“コロナに打ち勝つ” エシカル消費推進事業	かもじま五九郎まちづくり株式会社 吉野川高等学校	691,000
13	まちデザ Wi-fi	原田企画 あわふじ株式会社 WestHills Communication 株式会社 特定非営利活動 法人T a n e	2,000,000
14	よしのがわ島プロジェクト	一般社団法人ネイテック吉野川 有限会社 早川工業	1,000,000
15	コワーキングスペース・サテライトオフィスなどレンタルスペース	株式会社フェイト	2,000,000
16	キッズ起業家 (クリエイター/ユーチューバー) 育成コース	N i k o K i d s E n g l i s h	354,321
17	忌部の藍農家からおくるアスリートサポートプロジェクト 第1弾～吉野川市産藍の種茶商品化事業～	有限会社 吉田商店 吉田 理	910,099
18	プリント&デザインピース	デジタル名刺とデザイン名刺の販売	345,000

